

Top message

ト ッ プ メ ッ セ ー ジ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第38期第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う各種の行動制限により急速な悪化が見られましたが、その後の感染防止と景気回復に苦慮した政策効果もあり、行動様式の変化を伴いながらも個人消費には持ち直しの動きが見られました。また海外でも都市封鎖による外出や移動制限などから同様の傾向が見られましたが、各国政府の緊急対策や財政出動により、地域差や足取りの重さが残るものの経済活動は極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待されつつあります。しかしながら第2波発生も懸念されており依然として先行きは不透明な状況で景気の下振れリスクに注意が必要な状態が続いております。

このような情勢のもと、当社の属するカーアフターマーケットにおいて当社グループは、各地における新型コロナウイルスの影響に伴うイベント自粛や渡航制限などから営業活動には支障を来しながらも、引き続き「EnduraPro」「EnduraPro PLUS」を筆頭に、「4×4 DAMPER SPORT」や「STREET ADVANCE Z4」、また既存製品も合わせた販売活動の強化にグループ一丸となって努めるとともに、国内海外の各地域の特性に適した各種多様な販売キャンペーンにも取り組んでまいりました。また、海外の一部の地域における外出禁止や補助金でのいわゆる巣ごもり需要による自動車カスタマイズの活性化が、売上高を牽引する効果をもたらすことになりました。

他方、事業の継続を図りつつも従業員の安全を最優先として、勤務中の常時マスク着用や定期的な体温測定、またこまめなアルコールでの手指消毒は元より、積極的な在宅勤務、時差出勤その他の徹底した感染防止策を引き続き講じてまいりました。

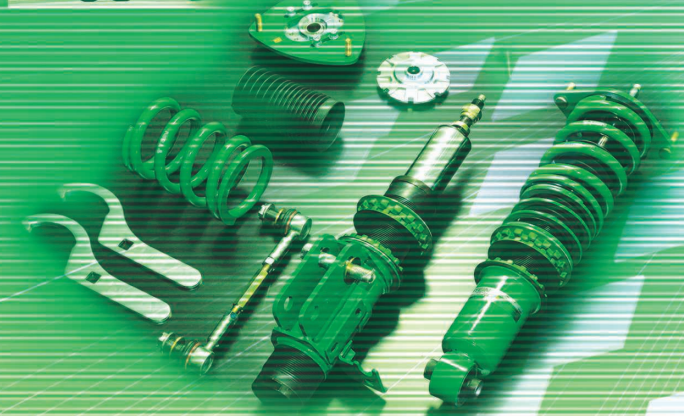
製品開発におきましては、「EnduraPro」および「EnduraPro PLUS」のラインアップの拡充に全力を注ぐとともに、市街地からオフロード走行までを想定した高い耐久性と走破性を確保した四輪駆動車（4×4）向け製品「4×4 DAMPER SPORT」の上級モデルの開発を推し進め、順次販売を予定しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,525百万円と前年同期と比較し増収となりました。また、損益の面においては持続的な売上総利益率の改善や販売費及び一般管理費の減少により営業利益は527百万円、為替差損益の影響や一部の海外拠点における政府からの助成金収入もあり経常利益は591百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益については423百万円と各々増益となりました。

株主の皆様の変わらぬご支援にあらためて感謝を申し上げますとともに、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

市 野 諮



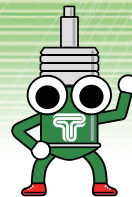
株主・投資家の皆様へ

第**38**期

株式会社ティン
中間のご報告

2020年4月1日から2020年9月30日まで

 **TEINI**[®]
For Your Driving Pleasure



ティンの信頼と実績の象徴、
「ダンパッチ」です。



財務情報

■ 四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度末 2020年3月31日現在	当第2四半期連結会計期間末 2020年9月30日現在
資産の部		
流動資産	2,801	3,210
固定資産	3,295	3,377
有形固定資産	2,903	2,967
無形固定資産	17	16
投資その他の資産	373	393
資産合計	6,096	6,587
負債の部		
流動負債	859	1,079
固定負債	1,687	1,612
負債合計	2,546	2,692
純資産の部		
株主資本	3,689	4,024
資本金	217	217
資本剰余金	215	215
利益剰余金	3,729	4,064
自己株式	△473	△473
その他の包括利益累計額	△139	△128
為替換算調整勘定	△139	△128
純資産合計	3,549	3,895
負債純資産合計	6,096	6,587

■ 四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前第2四半期連結累計期間 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
売上高	2,348	2,525
売上原価	1,377	1,425
売上総利益	970	1,099
販売費及び一般管理費	610	571
営業利益	360	527
営業外収益	13	68
営業外費用	88	4
経常利益	286	591
特別利益	—	0
特別損失	2	0
税金等調整前四半期純利益	283	592
法人税等	57	168
四半期純利益	226	423
親会社株主に帰属する四半期純利益	226	423

POINT

※四半期連結貸借対照表について

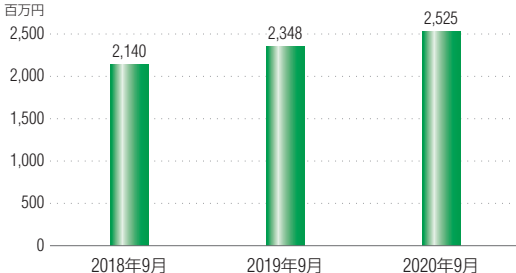
- ・増益に伴い現金及び預金が増加したことで、流動資産の合計が増加しております。
- ・未払法人税等の増加により流動負債の合計が増加しております。
- ・増益による利益剰余金の増加に伴い、純資産合計が増加しております。

※四半期連結損益計算書について

- ・トップメッセージにも記載いたしました内容により増収となり、あわせて持続的な売上総利益率の改善や販売費及び一般管理費の減少、また助成金収入などで大幅な増益となりました。

■ 売上高〈第2四半期累計〉（連結）

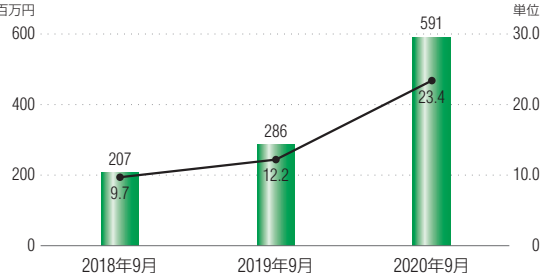
単位：百万円



■ 経常利益〈第2四半期累計〉（連結）／売上高経常利益率〈第2四半期累計〉（連結）

単位：百万円

単位：%



通期の見通し

今後の当社グループを取り巻く経営環境につきましては、米国における大統領選の行方、米中間の貿易摩擦に伴い減速感が強まる中国経済やその他の新興国の経済成長の推移、またそれらの先行き不透明感が国内景気に与える影響などは元より、新型コロナウイルスの感染拡大による各国での計り知れない経済影響など、依然として予断を許さない状況が続くものと考えられます。

当社グループの属するカーアフターマーケットにおきましても同様に、今後当面の間は、長期化が懸念される新型コロナウイルスとの戦いから、先行きの見通しにくい状況が続くものと思われる一方で、国内外ともにマーケットは回復に向かっているという手応えも感じております。

このような中、当社グループといたしましては、トップメッセージにも記載いたしました新型コロナウイルス感染症対策を講じつつも、前述のように業績への影響は限定的であると考え、人々の価値観や行動様式の変化がもたらされる新しい時代に向けて、引き続き新たな成長と財務体質の強化を図るべく、「EnduraPro」「EnduraPro PLUS」のラインアップの拡充に傾注するとともに、多様化するユーザーのニーズに適合する各種ショックアブソーバー製品群の充実と販売活動をより一層強化し売上の向上に努めてまいります。また当社グループでしか生み出せない付加価値の提案により需要喚起を図るとともに技術開発体制も拡充し、内製化の推進やフレキシブルな生産体制をさらに強化し、あわせて品質向上も推し進めてまいります。

以上により、通期の連結業績予想といたしましては、売上高4,576百万円、営業利益771百万円、経常利益853百万円、親会社株主に帰属する当期純利益614百万円を見込んでおります。

2020年12月

主力製品



写真はTOYOTA プリウス用

「EnduraPro」「EnduraPro PLUS」

純正ショックアブソーバーと同形状としながらも、各部の強度や容量アップを図ることで純正品以上の剛性や耐久性を確保。またハイドロ・パンプ・ストッパー（H.B.S.）の搭載により、車の挙動を乱す衝撃を吸収することで乗り心地も向上。補修交換として純正スプリングとの組み合わせで標準車高を維持しながらもハンドリングの向上が可能なプレミアム・リプレースメントダンパー。

「EnduraPro PLUS」では、さらに16段階の伸/縮同時減衰力調整機構を搭載することで減衰力調整を車内から簡単におこなえるEDFCシリーズにも対応し様々なセッティングを楽しむことも可能。
※一部車種は非対応



写真はTOYOTA ランドクルーザー用

「4×4 DAMPER SPORT」

設定車高を純正車高から約1.5インチのアップとすることで、ロードクリアランスを確保し市街地からオフロードまで様々な走行ステージに対応。ストロークが確保しやすい複筒式とシールド構造を採用し、高品質とリーズナブルプライスも両立。また上述のハイドロ・パンプ・ストッパー（H.B.S.）や16段階の伸/縮同時減衰力調整機構を搭載。さらには減衰力調整を車内から簡単におこなえるEDFCシリーズにも対応したことで、様々なセッティングを楽しむことも可能。
※一部車種は非対応

株式情報

■ 株式情報（2020年9月30日現在）

発行済株式の総数 6,652,250株

株主数 1,269名

大株主（上位10位）

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社イテノホールディングス	1,832,000	35.2
市野 諒	928,700	17.8
藤本 吉郎	520,700	10.0
MSIP CLIENT SECURITIES	315,700	6.0
大西 康弘	170,000	3.2
日本生命保険相互会社	166,400	3.2
市野 澄恵	121,500	2.3
小島 宣保	87,900	1.6
市野 ルリ子	86,000	1.6
山田 一元	61,000	1.1

(注) 持株比率は、自己株式(1,458,625株)を控除して計算しております。

■ 会社概要 (2020年9月30日現在)

商号	株式会社テイン (TEIN,INC.)
設立	1985年2月28日
所在地	本社工場 横浜市戸塚区上矢部町3515-4 TEL 045-810-5511 (代表) FAX 050-3156-3123 ・製品のお問合せ TEL 045-810-5501 ・IR (投資家向け広報) TEL 045-810-5511 (代表)
資本金	2億1,755万円
従業員数	117名 (社外への出向者、契約社員および臨時従業員は含まず。)
事業内容	自動車用サスペンションを始めとする自動車用品の製品開発、設計製造、販売および輸入自動車用品の販売。
代表者	代表取締役社長 市野 諒
取引銀行	横浜銀行、みずほ銀行、三井住友銀行
事業所	仙台営業所 仙台市宮城野区萩野町3-13-3 横浜営業所 横浜市戸塚区上矢部町3515-4 大阪営業所 兵庫県伊丹市荒牧南4-6-33
関連会社	TEIN U.S.A.,INC. TEIN UK LIMITED 天御香港有限公司 天御遠東国際貿易 (北京) 有限公司 天御減振器制造 (江蘇) 有限公司 宿遷天野貿易有限公司 TEIN Sales (Thailand) Co.,Ltd.

■ 役員 (2020年9月30日現在)

代表取締役社長	市野 諒
代表取締役専務	藤本 吉郎
専務取締役	古林 賢泰
取締役	那須 賢司
取締役	武井 共夫 弁護士
取締役	後藤 浩昭
常勤監査役	福元 哲朗
監査役	原 真志 公認会計士
監査役	黒木 一郎
監査役	佐藤 臣夫 税理士

(注) 1. 取締役武井共夫氏は、社外取締役であります。

2. 監査役福元哲朗氏、監査役原真志氏、監査役黒木一郎氏および監査役佐藤臣夫氏は、社外監査役であります。

メールサービスについてのご案内

投資家の皆様の利便性向上を図るため、「情報開示サービス」をおこなっております。
ご利用方法は、下記当社ホームページでご確認ください。
https://www.tein.co.jp/investors/irtekijj_touroku.html



■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月に開催します。
基準日	
定時株主総会の議決権	3月31日
期末配当金	3月31日
中間配当金	9月30日 (中間配当金の支払いをおこなう場合)
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
(郵便物送付先) (お問合せ先)	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 (ご照会) ☎0120-707-843
各種手続のお申出先	未払い配当金のお支払い ・株主名簿管理人にお申出ください。 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等 ・証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。 ・証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでもお受け付けたしております。
ホームページアドレス <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>
(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

単元株式数	100株
株式取扱手数料	単元未満株式買取手数料 株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額
公告の方法	電子公告 下記ホームページに掲載いたします。 https://www.tein.co.jp/ir.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

